

2025 年 12 月 10 日
一般財団法人化学及血清療法研究所

—感染症、血液領域の研究活動を支援— 2025 年度の研究助成対象者を決定しました

一般財団法人化学及血清療法研究所（理事長：馬場 秀夫、所在地 熊本市中央区）は、2025 年度の研究助成対象者として、下記のとおり、3つの研究助成プログラムに対する申請、計 383 件の中から 36 件を決定しましたので、お知らせいたします。当法人は、2020 年度より、感染症領域及び血液領域の研究の発展に寄与することを目的に研究助成事業を実施しております。

各プログラムの「助成対象者一覧」、および選考委員長の「審査講評」は 2 頁目以降に記載しております。
記

【2025 年度研究助成概要】

■化血研研究助成

感染症（人獣含む）領域及び血液領域において年齢制限を設けずに公募し、先端的・独創的に研究に取り組んでいる日本の大学または公的研究機関等に所属する研究者個人若しくは研究チーム・団体に対して研究助成する

助成金額：1,500 万円 （500 万/年×3 年間）/件

助成期間：3 年

採択件数：10 件（申請件数 154 件：採択率 6.5%）

■化血研ステップアップ研究助成

次世代の研究者の育成に資するため、『化血研若手研究奨励助成』採択者の中から、助成を受けた研究テーマをさらに発展させたい研究者に対して研究助成する（2025 年度は、2022 年度及び 2023 年度『化血研若手研究奨励助成』採択者を対象とした）

助成金額：600 万円 （300 万/年×2 年間）/件

助成期間：2 年

採択件数：6 件（申請件数 13 件：採択率 46.2%）

■化血研若手研究奨励助成

感染症（人獣含む）領域及び血液領域において 45 歳未満（申請締切時点）の研究者を対象に公募し、先端的・独創的に研究に取り組み、独立した研究テーマを持った将来有望な若手研究者に対して研究助成する

助成金額：300 万円 （2 年間 300 万円）/件

助成期間：2 年

採択件数：20 件（申請件数 216 件：採択率 9.3%）

以上

助成対象者一覧

■化血研研究助成 10 件

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|----------------------------|-----|---|
| 石垣 和慶 | 慶應義塾大学 医学部 | 教授 | 病原性 T 細胞の抗原特異性を解明する革新的 スクリーニング技術の開発 |
| 金 倫基 | 北里大学 薬学部 | 教授 | 腸内細菌叢の機能的制御による化学療法関連感染症の 予防戦略の構築 |
| 塚崎 雅之 | 昭和医科大学 大学院歯学研究科 | 教授 | 新規遺伝子の発見によるマクロファージ系列分化制御 機構の解明 |
| 野田 岳志 | 京都大学 医生物学研究所 | 教授 | エボラウイルスの粒子形成機構の分子構造基盤の解明と 創薬開発への応用 |
| 野村 紀通 | 京都大学 大学院生命科学研究科 | 准教授 | ウイルス膜蛋白質におけるクリプティックポケットの 構造生物学的解明と創薬応用 |
| 橋口 隆生 | 京都大学 医生物学研究所 | 教授 | マイクロ流体デバイスを活用したウイルス糖蛋白質の 動的構造変化解析技術の開発 |
| 廣田 圭司 | 京都大学 医生物学研究所 | 准教授 | 抗酸菌成分に対する 17 型免疫応答発動機構の解明 |
| 藤永 由佳子 | 金沢大学 医薬保健研究域医学系 | 教授 | in vivo における共生および病原性クロストリジウム 目細菌の相互作用の解析 |
| 藤室 雅弘 | 京都薬科大学 薬学部 | 教授 | カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス複製機構の解明と 阻害化合物の開発 |
| 村松 正道 | 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター | 部長 | B 型肝炎ウイルスの発がん分子機序の解明 |

■化血研ステップアップ研究助成 6 件

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|------------------------|---------------------|---|
| 芦田 浩 | 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 | 准教授 | 腸管病原菌による Effector-triggered immunity 制御機構 の包括的解明 |
| 金山 剛士 | 東京科学大学総合研究院 難治疾患研究所 | 准教授 | 新たな造血幹細胞識別法を用いた造血恒常性維持機構の 解明 |
| 木村 俊介 | 北海道大学 大学院薬学研究院 | 教授 | 呼吸器ウイルス感染後に誘導される病原性 M 細胞による 二次性疾患発症機構の解明と予防戦略の創出 |
| 細川 裕之 | 東海大学 医学部 | 准教授 | RUNX 転写因子を中心とした転写制御ネットワークによる T 細胞 の運命決定とその破綻による T-ALL 発症メカニズムの解明 |
| 三宅 健介 | 東京科学大学 総合研究院 | デニュア トラック 准教授 | ヒト好塩基球分化における転写ネットワークの解明 |
| 横田 明日美 | 東京薬科大学 生命科学部 | 助教 | 定常時とストレス時の C/EBP β 発現制御と細胞系譜 決定メカニズムの解明 |

※所属機関及び職位は 2025 年 12 月 10 日時点

助成対象者一覧

■化血研若手研究奨励助成 20 件

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 所属機関 | 職位 | 研究題目 |
|--------|----------------------------|-----------|---|
| 麻田 正仁 | 帯広畜産大学 原虫病研究センター | 准教授 | 新興住血原虫感染症の病原体 <i>Babesia duncani</i> におけるゲノム編集法の確立およびその応用 |
| 生島 芳子 | 東北大学 医学イノベーション研究所 | 講師 | 骨髄腔に存在する脂肪細胞の機能解明と造血器悪性腫瘍治療への応用 |
| 牛丸 理一郎 | 九州大学 高等研究院 | 准教授 | 感染症治療薬創出を指向した酵素的ヌクレオチド構造多様化方法の開発 |
| 小原 乃也 | 京都大学 医生物学研究所 | 特定 助教 | “結核特化型樹状細胞”の誘導機構の理解と応用による次世代結核ワクチンの創生 |
| 國本 博義 | 横浜市立大学 医学部 | 講師 | がんゲノム異常に基づく高リスク骨髄異形成・骨髄増殖性腫瘍の分子基盤と個別化治療の研究開発 |
| 古賀 沙緒里 | 熊本大学 発生医学研究所 | 准教授 | 造血幹細胞の発生・分化過程を解析できる実験モデルの開発 |
| 材木 義隆 | 金沢大学附属病院 先端医療開発センター | 特任 助教 | HLA 欠失造血幹細胞による自然寛解を基盤とした再生不良性貧血の新規治療戦略 |
| 佐藤 和秀 | 名古屋大学 高等研究院・医学系研究科 | 特任 講師 | 時空間光細菌叢操作による口腔感染症治療 |
| 七條 敬文 | 熊本大学 大学院生命科学研究部 | 助教 | 免疫逃避機構の克服を基盤とした成人 T 細胞白血病に対する新規治療法の開発 |
| 菅田 謙治 | 熊本大学ヒトレトロウイルス学 共同研究センター | 講師 | HTLV-1 特異的 CD8T 細胞による自己免疫性神経疾患の発症機序の解明 |
| 田口 厚志 | 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 | 特任 准教授 | 細菌表層合成を担う膜輸送体の構造機能解明と創薬展開 |
| 広瀬 雄二郎 | 大阪大学 大学院歯学研究科 | 准教授 | M1UK 株 <i>Streptococcus pyogenes</i> の病原性および病態形成機構の理解 |
| 廣瀬 亮平 | 京都府立医科大学 大学院医学研究科 | 准教授 | 消化管オルガノイドを用いた接触感染の制御を目指した研究 |
| 藤巻 慎 | 熊本大学 発生医学研究所 | 准教授 | 血管由来因子による加齢性筋疾患の制御とその応用 |
| 藤本 康介 | 大阪大学 微生物病研究所 | 教授 | 強毒性 <i>Enterococcus faecalis</i> が GVHD の病態に与える影響の解析 |
| 松野 啓太 | 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 | 准教授 | マダニ <i>ex vivo</i> 培養法を用いた簡便な新興ダニ媒介性ウイルスのベクター種推定手法の確立 |
| 村居 和寿 | 金沢大学 医薬保健研究域保健学系 | 助教 | 感染症における血中循環リパーゼの免疫調節機能とその生物学的意義の解明 |
| 本園 千尋 | 熊本大学ヒトレトロウイルス学 共同研究センター | 准教授 | プロバイオティクス誘導型免疫応答によるウイルス関連血液がん制御法の開発 |
| 薬師寺 文華 | 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 | 教授 | 熱帯熱マラリア原虫に起因する重症マラリアを標的とした革新的治療薬の創製研究 |
| 余語 孝夫 | 東京大学 医科学研究所 | 助教 | 定量位相イメージングと深層学習によるヒト造血幹細胞の動態解析 |

※所属機関及び職位は 2025 年 12 月 10 日時点

審査講評

(一財)化学及血清療法研究所では、感染症および血液領域に関する 2025 年度研究助成の審査を厳正に実施いたしました。本年度より助成プログラムの見直しが行われ、若手研究者への支援体制が一層強化されました。「化血研研究助成」は助成期間を 3 年間に延長するとともに採択数が増加し、「化血研若手研究奨励助成」および「化血研ステップアップ研究助成」についても採択数が拡充されました。また、応募領域の審査区分については、1. 細菌学（真菌学含む）・寄生虫学、2. ウイルス学、3. 造血器腫瘍学・造血幹細胞・造血発生学、4. 血栓止血学・血管生物学、5. 感染症および血液領域関連の免疫学の 5 分野に細分化し、より精緻な審査を目指しています。これにより、評価の質と審査プロセスの高度化に努めております。審査方法につきましては、従来通り二段階の書面審査後に選考委員による対面合議審査を実施し、提案された研究課題の厳格な選定を行っております。

本年度は、化血研研究助成が 154 件、化血研ステップアップ研究助成が 13 件、化血研若手研究奨励助成が 216 件の申請があり、化血研研究助成 10 件、化血研ステップアップ研究助成 6 件、化血研若手研究奨励助成 20 件が採択されました。化血研ステップアップ研究助成の採択率が 46%と上昇した以外は前年度同様の競争的で厳しい採択率になりました。選考に際しては、卓越した学術研究実績および高い研究展開力を有する研究者、ならびに独立して優れた研究を遂行可能な若手・女性研究者の選出を主要基準とし、多様な専門分野を代表する 18 名の選考委員による書面審査および合議による厳正かつ精緻な評価が実施されました。

本研究助成事業は創設から 6 年が経ち、感染症や血液学領域で広く認知されるようになりました。選考委員会では、より良い制度づくりや審査方法の見直しなど、継続的な改善に取り組んでいます。今後も、優秀な女性研究者や若手研究者の積極的な応募に加え、感染症、造血幹細胞・腫瘍学のみならず、止血血栓や感染免疫学分野における独創性と学術性の高い研究申請を期待しています。そして、この助成事業を通じて、世界の感染症・血液研究の発展を牽引する次世代の研究者育成につながることを願っています。

選考委員長： 東北大学大学院医学系研究科 国際卓越教授 赤池孝章

財団概要

一般財団法人化学及血清療法研究所

- ・所在地：熊本市中央区新市街 8-7 TERRACE87 2C
- ・代表者名：理事長 馬場 秀夫
- ・事業内容：1. 生物学的製剤等に関する研究・調査、2. 感染症及び血液領域を中心とした研究等に対する助成・顕彰、3. 医療技術者を養成する事業への協力・支援、4. 医療機関への協力・支援、5. 印刷物の刊行、6. 奨学金の支給、7. 大学・研究機関の後援及び学術集会の開催・後援、8. 地球環境保全に関連する事業、9. その他当法人の目的達成上必要と認める事業
- ・財団サイト URL：<https://www.kaketsuken.org/>

お問い合わせ先

一般財団法人化学及血清療法研究所 企画調整室（広報担当）

[担当] 宮原

[TEL] 096-297-2152

[E-mail] information@kaketsuken.org

■本件のお問い合わせ

一般財団法人化学及血清療法研究所 企画調整室 担当 宮原

〒860-0803 熊本市中央区新市街 8-7 TERRACE87 2C

電話：096-297-2152 E-mail：information@kaketsuken.org

URL: <https://www.kaketsuken.org>